

この度はお買い上げ頂き、誠に有難う御座います。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使い頂くために、この取扱説明書をよくお読み下さい。また参照できるように保管ください。

照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられております。

工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡し下さい。

- 40 形の L E D バーは 40 形の取付けベースと組合わせてご使用ください。
20 形の L E D バーは 20 形の取付けベースと組合わせてご使用ください。
- 本 製 品 の L E D バーと取付けベースはPPシリーズ専用になります。

40 形 LED バー（光源）

40形	6850lmタイプ	OPI-1208PPH3・N
	5700lmタイプ	OPI-1208PPH2・N
	4050lmタイプ	OPI-1208PP2・N
	2050lmタイプ	OPI-1208PP1・N

40 形取付けベース（器具本体）

40形	トラフ	OJ-1258C2
	反射笠	OJ-12515K2
	逆富士 W150	OJ-12515V2
	逆富士 W230	OJ-12523V2

20 形 LED バー（光源）

20形	2300lmタイプ	OPI-608PP2・N
	1100lmタイプ	OPI-608PP1・N

20 形取付けベース（器具本体）

20形	トラフ	OJ-638C2
	反射笠	OJ-6315K2
	逆富士 W150	OJ-6315V2
	逆富士 W230	OJ-6323V2

安全に関する注意

⚠ 警告 取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う危険が想定されます。

- LED バーを単独で使用しないでください。必ず指定の OPTIPLUS 製の LED バーと取付けベースと組み合わせてください。
落下・感電・火災の原因となります。
- 施工は、取付方法に従って確実に行ってください。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- LED バー・取付けベースを分解・改造しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- LED バーのパネルは樹脂製のため、取り扱いには注意してください。破損によりケガの原因となります。
- LED バーが破損した状態で使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧 $\pm 6\%$ ）、周波数以外の電源で使用しないでください。感電・火災・故障の原因となります。
- 電線接続は確実に行ってください。発熱・火災の原因となります。
- アース工事は電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。

⚠ 注意 取扱いを誤ると人が負傷するか、財産に損害が生じる危険が想定されます。

- 本製品は屋内専用です。屋外や雨の吹き込みを受ける場所、直射日光のあたる場所、湿気の多い場所、振動の大きな場所
腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、 $-20 \sim 45^{\circ}\text{C}$ 以外では使用しないでください。指定外の周囲温度で使用するすると短寿命の原因となります。
- 一般屋内でご使用の場合でも、器具周辺に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。
（一部の食品、車の排気ガスには硫黄成分が含まれています。）光学性能に影響を与える場合があります。
- LED バーのパネルはポリカーボネート製のため、直射日光のあたる場所などの紫外線の多い場所、ヘキサンやアセトンなどの
有機溶剤が使用されている場所では使用しないでください。パネルの劣化・破損の原因となります。
- 照明器具の清掃は、水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で
は拭かないでください。変色などの光学性能の劣化、変質、強度低下による故障の原因となります。

施工上の注意

- 照明器具の取り付け、取り外しは電気工事の有資格者が行ってください。
- 電線の接続は必ず電源を切ってから行ってください。器具の故障の原因となります。
- 電源線はVVF選Φ1.6mmまたは2.0mmをお使いください。

一体型 LED ベースライト照明器具取付方法 REALPLATE PP シリーズ OPI-XXX-PPX・N

1. 取り付け前の確認

- ・器具質量に十分耐えるよう、取付ボルトまたは木ネジ取付部（ネジかかり代）の強度を確保してください。
※不備があると器具落下・感電の原因となります。

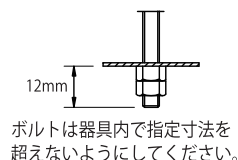
2. 取付けベース（本体）

2-1. 取付けベース（本体）の取り付け方

- ・電源線・アース線を本体の電源取り込み穴から引き込んでください。
- ・本体を取付ボルトまたは木ネジで確実に取り付けてください。
（取付ボルト推奨トルク値：1.5N・m）
※不備があると器具落下の原因となります。

2-2. 電源線・アース線の接続

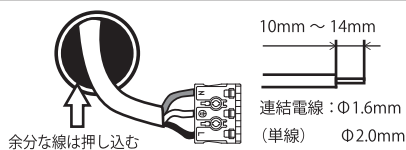
- ・電源線・アース線を端子台（電源用）に確実に差し込んでください。
- ・D種（第3種）設置工事が必要です。
- ・端子台の最大送り容量は表の通りです。



端子台の最大送り容量

ランプ	LEDバー品番	容量
40形	OPI-1208PPH3・N	10A
	OPI-1208PPH2・N	11A
	OPI-1208PP2・N	14A
	OPI-1208PP1・N	20A
20形	OPI-608PP2・N	20A
	OPI-608PP1・N	20A

注）電源線接続後、余分な電線はLEDバーとのあたりを防ぐため電源穴へ押し込むか、電源線を本体内に押し付けて処理してください。



※接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因になります。

■LEDバーを取外す場合

- ・LEDバーの両端を持ち、垂直に下に引き下げます。
- ・コネクタ・落下防止を外します。

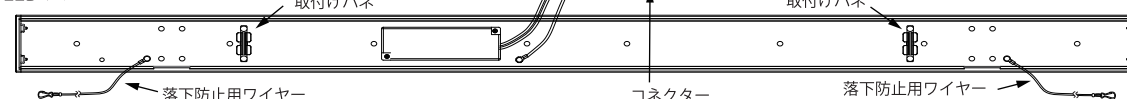


40 形【逆富士タイプの例】

取付けベース（本体）

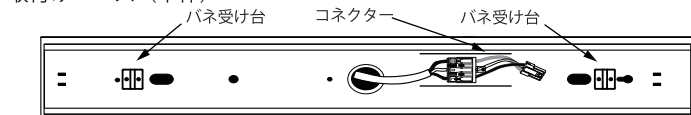


LED バー

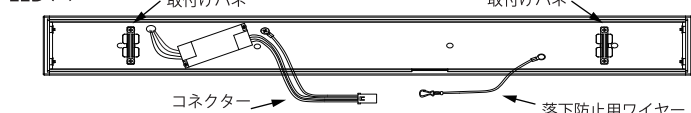


20 形【トラフタイプの例】

取付けベース（本体）



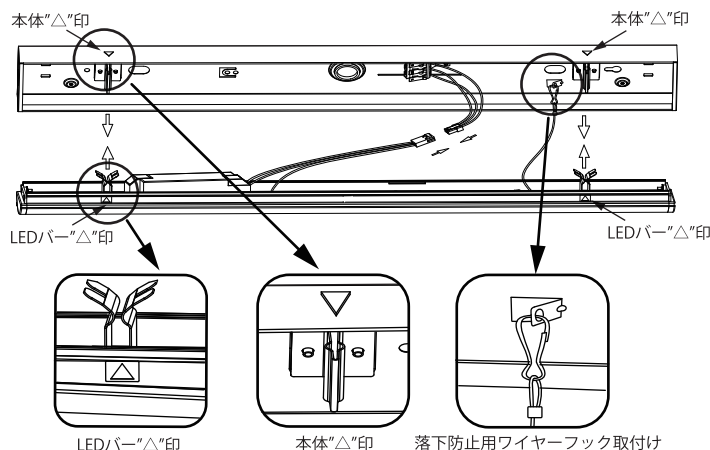
LED バー



3. LEDバー

3-1.LEDバーの引っ掛け

- ・本体内の“△”印とLEDバー側面の“△”印が向かい合うようにLEDバーの方向を合わせてください。
- ・LEDバーにある落下防止用ワイヤーのフックを本体の取付部分に挿入してください。
※取付が不完全な場合、LEDバー落下の原因となります。

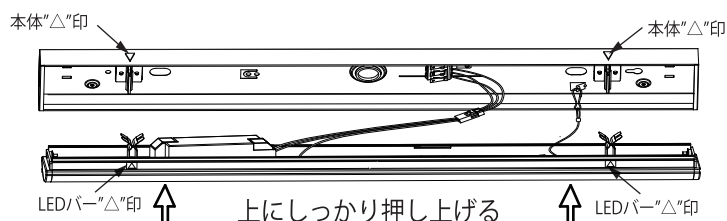


3-2.コネクタの接続

- ・本体とLEDバーのコネクタを確実に挿入してください。
『カチッ』と音がするまではめ込んでください。
※接続が不完全な場合、火災の原因となります。

3-4.LEDバーの取付け（取付けバネのはめ込み）

- ・本体内の“△”印とLEDバー側面の“△”印の位置を合わせます。
- ・LEDバーの取付けバネを本体のバネ受け台に合わせ、電源線と落下防止用ワイヤーを本体内に挿入してください。
- ・LEDバーを垂直に押し上げ、本体にしっかり挿入してください。



※不備があると器具落下の原因となります。

株式会社オプティプラス

〒110-0016

東京都台東区台東4丁目18番7号

シモジビルディング8階

お問い合わせ先

TEL:03-5812-3566

受付時間：10:00～18:00

（土・日・祝日・年末年始・夏季休業期間・会社都合による休日を除く。）